

本会議から付託された請願1件の審査及び所管する事務事業の調査を行うため、6月13日に産業水道委員会を開催しました。

請願第3号 国に対して最低賃金引上げ、中小企業支援策の拡充を求める意見提出を求める請願書

～請願内容～

最低賃金を大幅に引き上げ、働く貧困層をなくすために、国に対して意見書の提出を求めるもの。

～結果～

請願の趣旨は理解できるが、最低賃金が千円でなければ、社会生活に支障がでるという要求は、中小企業の雇用を、より一層厳しくする。労働者側だけの意見で要求することに問題点を含んでいるため趣旨採択することとした。

企業誘致の推進について

～内容～

総社市中原地内の企業（以下「A社」）と新たな企業（以下「B社」）との間で、用地等の売買契約が成立したこと、また、B社の今後のスケジュールについて当局から説明があり、調査を行った。

～質疑～

問：A社に対して総社市企業立地促進奨励金を交付していたが、撤退することになれば、奨励金交付の条件に該当しないことになる。奨励金の返還等はどうなるのか。

答：奨励金の返還については、B社に対して請求し、既に返還してもらっている。

問：新しい企業のB社に対して、総社市企業立地促進奨励金の交付はどのようなになるか。

答：B社は、総社市大規模工場等立地促進補助金の対象となり、要件をクリアすれば、5年間の分割で、建物及び償却資産の固定資産評価額の5%を交付することになる。

その他に、サンロード吉備路温泉揚湯ポンプの修繕について、当局から説明を受けた。